

2014 年度秋セメスター 授業評価（中間評価）結果

1. 実施率

表 1 授業評価実施率

		専任教員担当科目	非常勤教員担当科目
		実施率(春セメ)	実施率(春セメ)
共通科目	18/24	75%(90%)	100%(100)
看護学部	27/30	90%(100%)	100%(100%)
社会福祉学部	45/53	85%(91%)	100%(100%)
リハビリテーション学部	45/48	94%(95%)	100%(100%)
		87%(94%)	100%(100%)

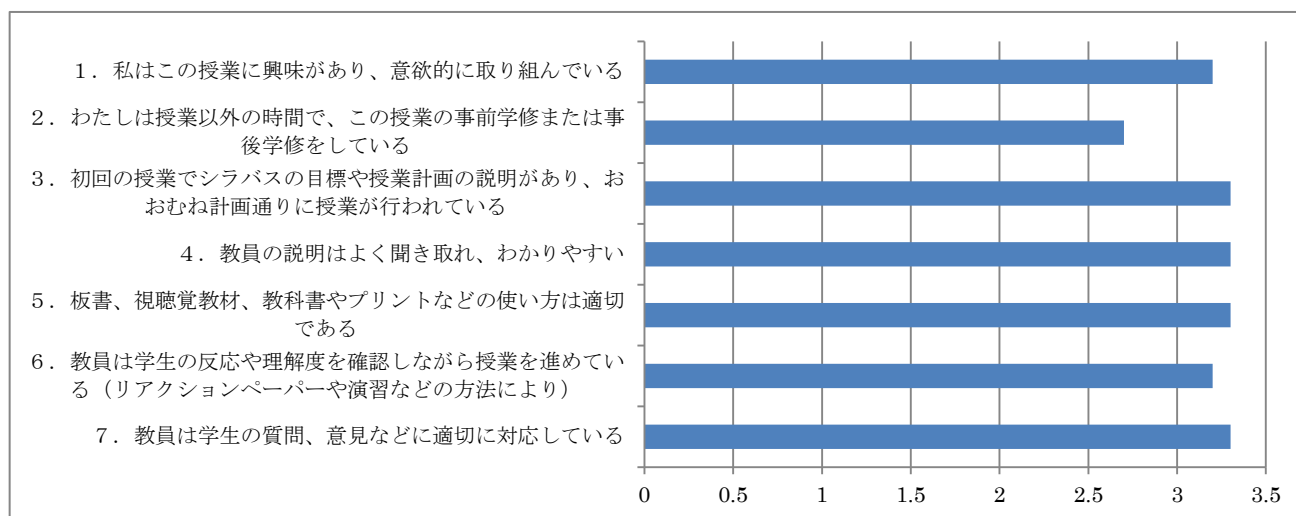
非常勤教員担当科目については春セメスターに引き続き、全学部で 100%実施できたが、専任教員担当科目については、2014 年度春セメスターと比較すると実施率はすべての学部で低下し、平均も 7 ポイント減少していた。

要因として、オムニバス、チェーンレクチャー型の科目、実習系科目は中間評価にはなじまない、という教員の判断があったことが推察される。

今後は、学部ごと実施しなかった理由を精査し、実施率が 100%となるような働きかけが必要である。

2. 授業評価結果

図 1 質問項目ごとの平均評定値



評価票の評価について「そう思う」（4 点）～「そう思わない」（1 点）と得点を与え、質問項目ごとに平均評定値を算出した（図 1）

全体的傾向としては、Q2 を除く 6 項目で 3.2 以上という結果であった。Q2 の事前・事後学修の遂行状況のポイント低さは春セメスターの授業評価結果と同様であり、事前・事後学修課題の徹底が必要である。